

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

2017年 8月 28日

東京大学での所属学部・研究科等:	教養学部	学年(プログラム開始時):	学部2
参加プログラム:	Korea University International Summer Campus	派遣先大学:	高麗大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input type="checkbox"/>	1. 研究職	<input type="checkbox"/>	2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
<input checked="" type="checkbox"/>	3. 公務員	<input type="checkbox"/>	4. 非営利団体
<input checked="" type="checkbox"/>	5. 民間企業(業界:)	<input type="checkbox"/>	6. 起業
<input type="checkbox"/>	7. その他()		

派遣先大学の概要

高麗大学校は韓国最高峰の私立大学。愛称はコリヨまたはコデ。スポーツの名門としても知られる。元大統領の李明博は出身者。

参加した動機

以前から留学に興味があったが、はじめての留学だったので約1ヶ月間のこのプログラムに応募した。留学の目的としては英語力の向上、特にスピーキング力を伸ばすことである。中でもこのプログラムを選んだ理由は授業料が無料だったからである。

参加の準備

①プログラムの参加手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

学内選考の際にTOEFL等の語学試験の結果が必要。早目に準備してスコアを取っておく。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

3ヵ月以内なので不要

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

出発前に大学の定期健康診断があった。常備薬は持っていった。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

OSSMA

⑤プログラム参加にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

単位認定無し

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

TOEFL72

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

韓国語の日常会話

学習・研究について

①プログラムの概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている内容等)

月～木 1日3コマの授業、金 フィールドワーク。Life Science, Micro Economics, Koreanの3つの授業を受けた。Life Scienceは試験のない代わりに毎日授業の最初に小テストがあった。Micro Economicsでは各話題ごとにクラス内で取引の実験を行い、テーマへの導入としていた。Koreanでは先生が韓国語で授業を行う。少しは英語を使うが主に韓国語であった。

②学習・研究面でのアドバイス

予習復習を計画的に行う

③語学面での苦勞・アドバイス等

空港から宿まで迷わず行ける程度は現地語を学んでおく

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

高麗大学の不手際で留学の申し込みが遅れてしまい、大学の寮には入れなかった。高麗大学が紹介していたサイトから宿を手配した。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

かなり蒸し暑かった。気温はそれほどでもないが湿度が高くあせもの原因となった。大学周辺には飲食店が多く食事場所には困らなかった。食事は朝は宿でトースト、昼と夜は外食した。ソウルの地下鉄は東京と比べてかなり安かった(基本1回130-160円ほど)。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)
北朝鮮のミサイルが一番の問題。外務省のたびレジに登録した。
④要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)
全て円。航空賃47000、授業料0、教科書代5000、家賃56000(6週間)、交通費4000
⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)
JASSOから7万円(プログラムに記載)
⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)
友人と観光に行ったり、大学が企画してくれたイベントに参加したりした。
派遣先大学の環境について
①参加学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)
十分であった。
②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)
キャンパスが広いので図書館が遠かったり、Wifiが繋がらなかったりした。しかし、図書館などの施設は充実していた。
プログラムを振り返って
①プログラムの意義、参加を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感
初対面の人に話しかける力が養われる。色々な国の文化の違いに触れられるだけでなく日本の文化について改めて考えさせられる。
②参加後の予定
進学選択による専攻決定

③今後参加を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

韓国は英語圏ではないものの、街中やレストランなどに英語や日本語の表示が多く生活しやすい

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

海外の携帯電話使用に関するサイト

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。